



フ ォ ト ー リ ー ユ ー ス



指導員と一緒に姿勢を確認

全県審判技術研修会

(4月5日)

野球の全県審判技術研修会が樹海ドームで行われました。県内18支部から参加した審判員48人が、間もなく始まる各チームの熱戦に備えて、ストライクゾーンや投球の判定などを再確認しました。球審の姿勢やポジションなど細かい指導を受けたあと実習に入ると、会場には各審判員の「ストライク」や「ボール」の力強いコールが響き渡り、シーズンの訪れを告げていました。



消火器を使った訓練

自分たちのまちは、自分たちで守る

(4月6日)

東台地区周辺で、総合防災訓練が行われました。訓練には、地域の皆さんや消防関係者など220人が参加。避難誘導や初期消火訓練、バケツリレーや家屋の下敷きになった人の救助、防災ヘリでの救出などの訓練が本番さながらに緊迫して繰り広げられました。参加者は「自分たちのまちは、自分たちで守る」決意を新たにしていました。



市内パレード出発

急がずにマナーとゆとりで安全運転

(4月6日)

春の全国交通安全運動のスタートに合わせて、交通安全を願う車両パレードが行われました。出発式と交通安全功労者の表彰を大館警察署で行った後にいざ出発。パトカーを先頭に「交通安全」や「飲酒運転追放」などののぼり旗をたなびかせた軽トラック16台が、ドライバーや歩行者に注意を呼び掛けました。



親子で仲良く放流

4年後にまた会おうね

(4月6日)

春らしい穏やかな陽気のなか、長木川の白鳥広場でサケの稚魚の放流が行われました。平成4年から毎年続けられ、これまでに144万匹を放流し、数年前からは数百匹のそが見られるようになりました。今年は、園児や小学生などが10万匹を放流。5センチ前後にまで成長した稚魚をバケツに入れ、4年後にまた会えることを願いながら、ゆっくりと放流していました。



一生懸命拾い集めます

チカラを合わせてクリーンアップ

(4月13日)

暖かい日差しのなか、春のクリーンアップが長木川河川敷で行われました。早朝から小・中学生、企業や団体など約700人が集まり、火ばさみなどを使いながら、投げ捨てられたごみや空き缶などをそれぞれごみ袋に詰め込んでいきました。集められたごみは、トラック4台分約1,220kg。きれいになった河川敷は、今年も多くの市民でにぎわいそうです。

あなたのまちの話題を
お知らせください。

総務課広報広聴係
☎43-7025
(内線258)